

# 日本共産党市議会だより

日本共産党議員団  
団長 松浦敏司 幹事長 村椿敏章  
網走市北8西3 Tel / 43-4458

3月議会 3月3日～23日

村椿議員の代表質問から

市長給与を19万円増額したのはなぜ



(問) 市の財政状況は、経常収支比率97%と財政運営は以前厳しい中、昨年12月から特別職の給与を元に戻し、市長給与は月額19万円増額となった。

平成26年11月臨時会では「特別職の給与に関する条例の特例に関する条例」を改正、減額したのに、平成30年には、なぜ改正しなかったのか。

起債残高を200億円削減

特別会計赤字13億円へ圧縮

(答) 第3次行革で期間を定め市長給与を20%減額し、H30年11月に期間が終了したことから、元の条例の金額に戻した。H24から削減した一般職員給与はH27年末に元に戻した。時間外勤務の抑制や機構改革で総人件費の抑制を進めた。

534億あった起債残高は333億円まで減少し、順次償還(返済)が終了する段階に入り、今後公債費負担は少なくなる。また、3つの特別会計は最大91億円が13億円まで圧縮した。

## 市の財政状況は良くなった？

ふるさと寄附金活用で  
産業振興・教育予算に

(答) 第4次行革以降は国の交付金や起債を活用して財源の確保に努めた。

産業振興や市民生活の向上のために必要となる財源を「ふるさと寄附金(年13億円ほど)」など外部から調達することが可能になるなど、多様な歳入の確保に努めており、持続可能で健全な財政運営をしていく。

条例の取り扱いについては関係機関と網走市特別職報酬審議会と相談していきたい。

予算等審査特別委員会から

債務残高は今後も減る

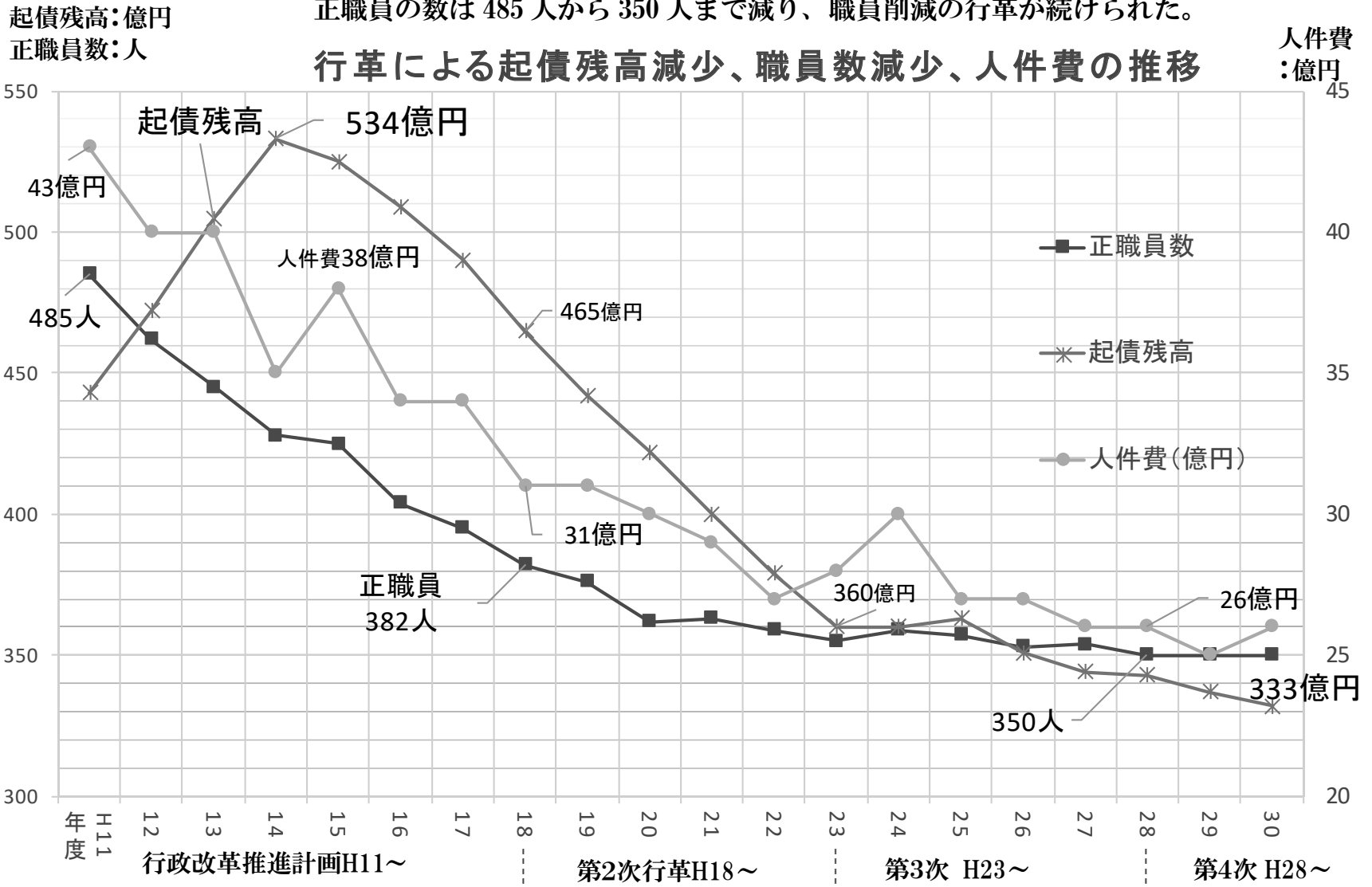
特別会計の資金不足を解消

(問) 市長は答弁で市の財政状況は良くなっております。横ばいで進むと言う。債務残高は今後どのように減っていくのか、見通しはどうか、見ているのか。また、健全な財政の状況とはどのような状況であるかとらえているのか。

(答) 返済は毎年40億円、借入は20億円ほどであり、毎年20億円ほど減っていく。健全化した姿は示すことは難しいが、特別会計において資金不足の解消や基金繰り入れが無くなることと見ている。

グラフの説明 起債(借り入れ)残高は534億円あったものが、333億円まで減少。正職員数は485人から350人まで減り、職員削減の行革が続けられた。

行革による起債残高減少、職員数減少、人件費の推移



# 暮らし福祉、教育に予算を



3月23日、新年度予算について、松浦議員が反対討論に立ちました。

## 地方いじめを許すな

反対の理由は、第1に、安倍政権の地方いじめの政治に対して、自治体の長として、国に意見を述べる姿勢が無いこと。今年の国家予算では社会保障費の自然増に対して、1200億円を削減。一方で、大企業への減税など格差と貧困を一層拡大している。しかし、市長は特に支障はないと一定の評価をしている。

## 市民負担と職員削減

第2に、市の新年度予算案は、公債費35億6,300万円であり、起債残高は減少しているが厳しい状況にある。

過去の大型開発型公共事業の推進で財政が悪化し、行政改革の名のもとに市民への利用料・手数料の引き上げと職員の削減など痛みを伴う改革で、財政の健全化を進めてきたことである。

ついでに医療費などは評価評価すべき政策として、

こども医療費の入院費を中学生まで無料化、通院も基本的に1割負担、第3子からは無料。住環境改善補助金、就学援助の拡充、教育相談カウンセラーを市独自で配置、入学準備金が3月支給は評価する。

## 財政改善ならば

### 市民本位の予算に

予算審査の中で、市の財政状況は改善されていると強調しているが、そうであれば、市民が消費税増税で苦しみ、社会保障費の負担増で苦しむなど、暮らしや福祉、教育に、これまで以上に力を注ぐべきだ。

また、給食調理の一部民間委託の問題は、安定した給食を供給するためにも非正規職員を正職員にすることで安全・安心で、これまで通り美味しい給食を提供することが出来る。

総体的には、暮らし・福祉・教育を中心とした安心して暮らせる市民生活密着型の予算とはいえないので反対である。

## ずさんな計画に

### 多額の税金投入

特別会計については、市有財産整備特別会計は、潮見住宅団地の地盤沈下対策として24億を費やしてきた。補償について反対するものではないが、過去のずさんな土地造成によって起きたもので、過去の経緯から反対である。

他に、国民健康保険、網走港整備、能取漁港整備、介護保険、後期高齢者医療の特別会計に反対しました。

# 給食調理の請願書採択されず!

3月6日、文教民生委員会が開かれ、「学校給食の未来を共に考えることを求める請願」「学校給食の民間委託中止と安心安全な給食の維持を求める請願」などの4件が審査されました。

委員全員の意見が一致せず、継続審査となりました。

## 給食問題を引き続き

### 議論することを決定!

予算等審査特別委員会では、複数の委員から市民の不安があるとの質問が出され、市教委は市民に「いねい」の説明をしていく考えを示しました。

文教民生委員会では「学校給食のあり方について」今後、調査することになりました。

請願審査の結果

請願名	志誠会	民主市民ネット	共産党議員団	令和の会
安心安全な給食の提供体制及びアレルギー対応についての請願	継続	採択	採択	不採択
学校給食の民間委託計画中止と公設・公営の現行給食の維持を求める請願	継続	採択	採択	不採択
「おいしいまち網走」の学校給食の未来を共に考えることを求める請願	継続	採択	採択	不採択
学校給食の民間委託中止と安心安全な給食の維持を求める請願 (2278筆の署名付)	継続	採択	採択	不採択

# 新庁舎の位置については検討

3月23日、新庁舎建設特別委員会から中間報告が示されました。この間、11回の委員会を開き、建設の必要性や建設位置、財源などについて調査検討をしてきました。

現状では①中心市街地「金市館ビル跡地周辺」②現有地建て替え③市営住宅潮見団地跡地④駒場運動公園市営球場(新規)⑤新たな建設地をさらに検討すべきとの見解です。

新庁舎が中心市街地に立たないと補助金の返還をしなければならないの?

## 返還は必要ない

金市館ビルの解体費には経産省の補助金などが入りませんでした。建物を建てられなくても、今のような広場に『中心市街地の創出』につながれば、補助金は返還しなくても良いのです。

## 市民の声

**LGBTs(性的少数者)の陳情採択!**  
性的少数者(LGBTs)へ憲法13条に基づいて最大の尊重を網走に求める陳情が、3月5日に開かれた総務経済委員会でも、再度、審査が行われ、会派「志誠会」も賛同し、採択となりました。昨年6月、この陳情が継続審査となったこともあり、総務経済委員会は、昨年10月の行政視察で大阪市のLGBTの取組について調査し、多様な性のあり方を認めることについて学ぶことが出来ました。  
採択にはLGBTに對する世界と日本の動向、網走でも学習会が開かれるなど世論が広がっていることも影響したと思います。

生活相談・なんでも相談お受けしています

松浦 敏司 090-3391-7192 ・ 村橋 敏章 090-9683-2858

お気軽に上記の両議員か、43-4458か、メール kyosanto@bz04.plala.or.jp へお寄せください。

網走市委員会のホームページになります。ご意見などをお寄せください。

